

変化に対応できる力を培う



CONTENTS

FISHING POLITICS

漁政

- 第1回漁政対策委員会・
ロケット打上げに関する事前協議
- 燃油高騰対策緊急決起大会開催
- 平成25年4月届人水揚げ表

FISHERY MANAGEMENT

漁協経営情報

- 平成25年度
宮崎県漁協初級職員研修会

BUSINESS

業務情報

- 気仙沼に「カツオ一本釣り初水揚げ」本県一番乗り
- 海洋高校実習船「進洋丸」
津波避難訓練の実施
- 大地の恵みの名水「美泉水」
販売のお知らせ

FISHERIES CO-OPERATIVE

漁連情報

- いきいき宮崎のさかなブランド
確立推進協議会第一回委員会が
開催される!!

FISHERIES EXPERIMENT

水産試験場

- 平成25年竿釣ビンナガ資源
来遊状況について
- 4月の動き(県関係)

RELATED ORGANIZATION

関係機関

- 宮崎県旋網漁業組合第3回役員会
- 宮崎県漁協参事会三役会
- 宮崎県漁協職連第1回役員会
- 宮崎県かつお・まぐろ漁業者協会
第1回役員会
- 平成25年度宮崎県
かつお・まぐろ漁業者協会通常総会
- 4月の動き



漁政

第1回漁政対策委員会・ ロケット打上げに関する事前協議

宮 崎県漁政対策委員会(会長 丸山英満)は去る4月25日、第1回漁政対策委員会・ロケット打上げに関する事前協議を開催した。協議内容は下記の通り

・第1回漁政対策委員会

- (1)平成25年度ロケット打上げについて
- (2)その他

・ロケット打上げに関する事前協議

- (1)ロケット打上げについて
 - (ア)平成24年度ロケット打上げ結果について
 - (イ)平成25年度ロケット打上げ計画について(案)
 - (ウ)平成26年度ロケット打上げ計画(案)概要について
- (2)漁業対策について
 - (ア)平成24年度種子島周辺漁業対策事業の結果について
 - (イ)平成25年度種子島周辺漁業対策事業について(案)
 - (ウ)平成25年度漁業者連絡通信等業務協力費について(案)
- (3)その他

燃油高騰対策緊急決起大会開催

去 る5月20日、水産会館5階大研修室において「燃油高騰対策緊急決起大会」を開催、県下漁業者及び漁業関係者約380名が参加し、円安の進行による燃油価格のさらなる上昇について漁業の現状を訴えるとともに、水産物の安定供給を果たすための緊急支援について決議を行った。本県選出議員の挨拶及び全漁連 長屋常務理事より情勢報告が行われたのち、「我が国漁業の存続対策を求める決議」が採択された。

[【決議文はこちら】](#)



ナチュラルミネラルウォーター

美泉水

お問い合わせ先

本所業務部	0985-28-6111
延岡支所	0982-37-0030
日南支所	0987-23-5231

FISHING POLICIES

FISHING POLICE

漁政

平成25年4月属人水揚げ表

漁協名＼区分	4月分			4月末累計			昨年同月累計			増減		魚価対比 %
	数量 t	金額 千円	魚価 円/kg	数量 t	金額 千円	魚価 円/kg	数量 t	金額 千円	魚価 円/kg	数量 t	金額 千円	
北浦	1,764	170,187	96	10,802	813,587	75	10,770	728,873	68	32	84,714	10.8
島浦町	500	148,490	297	3,445	596,655	173	3,891	502,112	129	-446	94,543	34.3
延岡	121	33,595	278	218	64,877	298	206	96,650	469	12	-31,773	-36.5
延岡市	114	38,645	340	299	136,435	457	334	167,620	502	-35	-31,185	-9.0
庵川	109	62,243	572	441	232,934	528	496	208,882	421	-55	24,052	25.4
門川	43	19,406	454	157	64,739	413	173	92,953	537	-16	-28,214	-23.1
日向市	353	259,852	736	1,571	1,003,657	639	1,622	847,947	523	-51	155,710	22.1
都農町	46	35,176	767	182	116,029	638	214	113,644	530	-32	2,385	20.4
川南町	185	149,655	808	1,135	775,373	683	1,573	898,442	571	-438	-123,069	19.6
一ツ瀬	17	11,726	696	56	39,037	694	54	33,267	618	2	5,770	12.3
穀浜	37	10,296	279	74	26,616	357	51	17,333	338	23	9,283	5.7
宮崎	317	90,713	286	706	250,057	354	545	186,130	341	161	63,927	3.9
宮崎市	159	77,188	485	385	184,131	478	371	158,758	428	14	25,373	11.7
日南市	779	324,060	416	2,142	973,216	454	2,215	1,008,943	456	-73	-35,727	-0.4
南郷	1,474	600,978	408	3,846	1,629,714	424	2,451	1,222,885	499	1,395	406,829	-15.1
栄松	121	56,593	469	293	136,160	464	179	94,396	526	114	41,764	-11.8
外浦	727	261,413	360	1,681	687,248	409	876	405,594	463	805	281,654	-11.7
串間市東	124	53,778	434	628	234,791	374	714	311,642	437	-86	-76,851	-14.5
串間市	692	383,956	555	3,371	1,771,063	525	3,220	1,693,329	526	151	77,734	-0.1
合計	7,681	2,787,950	363	31,433	9,736,318	310	29,954	8,789,400	293	1,479	946,918	5.7

端数処理の関係で、下1桁が合わない部分があります。



平成25年度 宮崎県漁協初級職員研修会



漁連 連は、平成25年度漁協役職員研修事業の一環として、4月11～12日にかけて、宮崎県職業能力開発協会の主催する新人社員研修会を取り入れ、初級職員を対象として研修会を開催した。

研修内容は次のとおり

「社会人としての心構え、接遇マナー、仕事の進め方などビジネスマナーの基本」

1. 新人社員としての心構え
2. 効率の良い仕事の進め方
3. ビジネスマナーの基本
4. 電話の応対と言葉遣い
5. 様々なケースでの来客対応



以上の内容を中心にグループに分かれ実演するという形式で行われた。

参加者の感想として、「この研修を受けるまではビジネスマナー等で知らなかったことや実践できなかったことが多かったが、二日間の研修で学んだ基本をしっかりと自分のものにし、今後、臨機応変に対応していきたい」などの声があがっていた。

参加者

島浦町漁協	宇和田 知夏
延岡市漁協	岩谷 歩美
日向市漁協	川田 純平
日向市漁協	岩本 準大
信漁連	吉村 謙一
信漁連	末吉 侑生
漁船保険	浅野 龍昇



気仙沼に「カツオ一本釣り初水揚げ」 本県一番乗り

氣 仙沼魚市場に5月27日、今年初のカツオ一本釣りのカツオ約19kgが水揚げされた。

氣 初水揚げしたのは、本県の第73真海丸(JF南郷所属)。

北緯36度、東経143度の海域で漁獲したカツオを約8時間かけて気仙沼港に水揚げした。

落札価格は、*あたり高値600円から安値190円、平均単価265円とまずまずの相場でスタートした。

同日午前中に気仙沼市長・気仙沼漁協組合長らが参加されての歓迎セレモニーが行われた。そんな中、同船の中野慎三漁労長が地元南市の有志グループを中心とした東日本大震災の復興イベントで集めた義援金と参加者が寄せ書きをした飴肥杉製のベンチを気仙沼市長に手渡されるサプライズもあった。中野漁労長は、「気仙沼は私たちの第二の故郷。これからバンバンカツオを釣って気仙沼の復興の力になりたい」と力強く語った。

なお、セレモニーのあと中野漁労長は「漁場から気仙沼が近かったので水揚げすることを決断した。今年のカツオの群れは大きいようで漁は期待できそう」と語った。

海洋高校実習船「進洋丸」 津波避難訓練の実施

去 る5月14日、宮崎県立宮崎海洋高等学校実習船「進洋丸」は、一昨年に発生した東日本大震災に伴う津波被害を受け、市より避難場所として指定されている宮崎県水産会館において避難訓練を実施した。

訓練は、乗組員のみ在船で宮崎港に停泊、作業中において震度6強以上の地震が発生後、大津波警報が発令したと想定し、離船準備完了後、水産会館へ避難誘導し、正面玄関及び非常入り口を確認後、階段にて最上階へ登った。

最近、報道で話題となっている南海トラフ巨大地震については、本県において津波の被害を大きく受ける予想となっており、津波対策が重要視されている。

そのような中、当日々、地元新聞社も取材に駆けつけ津波対策に対する注目度の高さが伺えた。

大地の恵みの名水「美泉水」販売のお知らせ

発 売当初よりご愛顧頂いております「美泉水」の取扱もおかげさまで6年目を迎えました。改めましてこれまでのご愛顧に対しお礼を申し上げますと共に今後益々、ご愛顧賜りますようお願い申し上げます。

美泉水は、「安心して美味しい飲める」をコンセプトに、名水の産地である鹿児島県志布志町安楽の広大なシラス台地に降り注いだ雨水が長年の歳月をかけ岩間から湧水となって吹き出している源水を採取しております。

そのままお飲み頂くのはもちろん、お茶・コーヒーの香りや持ち味をグンと引き立てます。

これから暑い夏場を迎える、水分補給が重要となってきます。熱中症等防ぐ為にも、美泉水を愛飲されてはいかがでしょうか?

ご購入に関するお問い合わせは下記の通り。

本所業務部	0985-28-6111
延岡支所	0982-37-0030
日南支所	0987-23-5231



いきいき宮崎のさかなブランド確立推進協議会第一回委員会が開催される!!

去る5月21日火曜日午後1時30分から宮崎県水産会館会議室において、いきいき宮崎のさかなブランド確立推進協議会第一回委員会が開催されました。委員15名のうち代理を含めて13名の出席で第1号議案 平成24年度事業実績及び収支決算について及び第2号議案 平成25年度事業計画及び収支予算について、審議がなされ議案の通り承認されました。以下に、議案資料をご紹介します。

いきいき宮崎のさかなブランド確立推進協議会第一回委員会資料

第1号議案 平成24年度事業実績及び収支決算について

第1 基本方針

近年の漁業経営を取り巻く環境は、魚価の低迷や漁獲量の低下、燃油等操業コストの上昇など、大変厳しい状況にさらされている。このため、資源管理の推進や経営コストの削減とともに、魚価向上や販路拡大の取組が重要となっている。

そこで、当協議会では、「みやざきブランド」の確立と定着を図るため、ブランド認証制度を活用したPRやフェア等の開催について、より効果的な取り組みを行い、県産水産物の認知度・イメージ向上及び販路拡大を促進した。

第2 重点推進事項

1 みやざきブランド育成定着推進事業

①本県産水産物の流通・販売に積極的に取り組む地域における情報発信・提供

ア 全県的水産物の情報発信・PR資材作成

ブランド認証品をはじめとする本県水産物等を効果的にPRしていくため、テレビ・ラジオ・ブログ等による情報発信やフェア等でのポスター・のぼり等によるPRを行うとともに、県内各所で開催されるイベント情報等を掲載したイベントカレンダーを作成し、主な行政機関・漁協・商工会議所・商工会・観光協会など関係団体等への配付やメール配信、ホームページ掲載を行った。

- ・ポスター印刷 4種類(うなぎ、しいら、かつお、定置どれ)

- ・県政番組視聴者プレゼント 3件

- ・宮崎初かつおフェアの開催、・イベントカレンダーの作成など

イ 地域水産物フェア、イベントの企画等によるPR

各部会及び当協議会が主体となって、ブランド認証品をはじめとする本県水産物等について、各種イベント・フェア等の企画開催や県内漁協直販店のイベント参加等により効果的なPRを行った。



部会区分	対象漁協等	実績内容
県北部会	北浦漁協 島浦町漁協 島浦加工組合 延岡漁協 延岡市漁協 庵川漁協 門川漁協 門川加工組合 日向市漁協	ブランド認証品(北浦灘アジ、門川金鱈、ひむか本サバ、宮崎一口あわび“浦の恵”、宮崎焼酎もろみ漬け(シイラ))をはじめとする地元水産物を地域イベントやフェア等に参加してPRを行った。特に北浦漁協、島浦町漁協、延岡漁協、延岡市漁協と延岡市とが共同して、シーフードショー等へ参加してPRを行い、販売促進の手掛かりを得た。
県央部会	都農町漁協 川南町漁協 宮崎漁協 宮崎市漁協	ブランド認証品(みやざき金ふぐ)をはじめ、イセエビ、シイラ、宮崎チリメンなどの地元水産物を都農ワイン祭りや軽トラ市などの地域イベントやフェア等に参加してPRを行った。

部会区分	対象漁協等	実績内容	
県南部会	日南市漁協 南郷漁協 栄松漁協 外浦漁協 串間市東漁協 串間市漁協	かつお、マグロ、カンパチ、ブリなど、県内有数の水揚げを誇る水産物をはじめ、宮崎かつおうみっこ節などの水産加工品を、南郷日の出市やイセエビ祭りなどの地域イベントやフェア等に積極的に参加してPRを行った。	
内水面部会	国内第三位の生産量を誇る本県ウナギを、県内児童養護施設へクリスマスプレゼントとして、うなぎかば焼きの贈呈をはじめ、県政番組の視聴者プレゼントなどを通じてPRを行った。		
流通部会	鮮魚店や量販店などによる「宮崎初かつおフェア」の開催をはじめ、料理教室や宮崎駿前朝市など、学校や商店街等と共同してイベントを開催し、「みやざきの魚」のPRを積極的に行つた。		
協議会事務局	本県水産物の露出度を高めるため、宮崎イセエビいただきマンスの実施や水産振興大会楠並木朝市合同イベントに参加するなど、各種イベント・フェア等を合同で開催し、積極的にPRし消費拡大を図つた。 ・イセエビいただきマンスの実施 ・水産振興大会時に楠並木朝市合同イベント参加 ・古事記編纂1300年記念グルメまつりの参加など		

② 販路開拓・定着促進

ア 本県水産物の販路開拓の促進

ブランド認証品等の更なる販売強化のため、県内外の商談会等に参加し、販路開拓・定着化の促進に努めた。

- ・活動旅費 県外2回、県内5回
- ・宮崎の魚サンプル原魚代等31件

イ ブランド認証品の販路定着促進

ブランド認証品の更なる販売強化のため、シーフードショーの参加など、申請団体と一緒にした取組により販路拡大・定着化の促進を図つた。



西米良サーモン



認証年度	ブランド認証品	種別	24販売計画 (数量・金額)	24販売実績 (数量・金額)	認証申請団体	出荷割合
14	宮崎カンパチ	鮮魚	7トン	8トン	宮崎県漁業協同組合連合会	県内98%
			630万円	670万円		県外 2%
14	北浦灘アジ	鮮魚・活魚	100トン	81トン	北浦漁協まき網船協業体	県内一
			11,000万円	9,326万円		県外 100%
15	門川金鰨	鮮魚	2トン	1.3トン	門川漁業協同組合	県内90%
			700万円	464万円		県外10%
16	ひむか本サバ	鮮魚・活魚	60トン	42トン	北浦養殖マサバ協業体	県内35%
			9,500万円	6,749万円		県外65%
17	宮崎かつおうみっこ節	加工品	21,000本	18,500本	日南市漁協女性部水産物加工グループ	県内70%
			610万円	535万円		県外30%
19	五ヶ瀬やまめ	鮮魚・加工品	20トン	15トン	やまめの里漁業生産組合	県内40%
			4,500万円	3,035万円		県外60%
20	宮崎焼酎もろみ漬け(シイラ)	加工品	11,000個	7,500個	門川水産加工業協同組合	県内30%
			385万円	280万円		県外70%
20	宮崎一口あわび“浦の恵”	鮮魚	10,000個	3,404個	一口あわび養殖グループ	県内80%
			250万円	108万円		関東20%
22	みやざき金ふぐ	鮮魚	55トン	49トン	みやざき金ふぐ振興会	県内30%
			2,600万円	2,639万円		県外70%

2 ブランド推進協議会運営事業

① 協議会等の運営

当協議会及び部会の開催を行うことにより、効果的な事業推進や円滑な運営を図った。

なお、本年度は水産物等ブランド品認証の申請は、該当がなかった。

- ・協議会委員会開催 1回
- ・部会の開催、運営 5部会

② ブランド品の育成と定着の指導

県水産物ブランド品の育成と定着促進を図るため、ブランド認証品の販路拡大等に対する活動助成を実施するとともに、県内漁協との調整・指導等に努めた。

- ・事務局職員による漁協との調整・指導等 職員1名
- ・ブランド認証品の販路拡大等活動助成 9団体



県政番組取材風景
富士漁師の店



宮崎市漁協 イセエビ祭り

収支決算書

1 収入の部

(単位:円)

区分	本年度決算額	本年度予算額	比較増減		備考
			増	減	
県補助金	6,953,000	6,953,000	—	—	
その他	4,680,997	4,248,000	432,997	—	
合計	11,633,997	11,201,000	432,997	—	

2 支出の部

(単位:円)

区分	本年度決算額	本年度予算額	比較増減		備考
			増	減	
1みやざきブランド育成定着推進事業	6,199,269	5,541,000	658,269	—	
2ブランド推進協議会運営事業	5,434,728	5,660,000	—	△225,272	
合計	11,633,997	11,201,000	658,269	△225,272	

第2号議案 平成25年度事業計画及び収支予算について

第1 基本方針

近年の漁業経営を取り巻く環境は、魚価の低迷や漁獲量の低下、燃油等操業コストの上昇など、厳しい状況にさらされている。このため、資源管理の推進や経営コストの削減とともに、魚価向上や販路拡大の取組がたいへん重要となっている。

そこで、当協議会としては、「みやざきブランド」の確立と定着を図るため、ブランド認証制度を活用したPRやフェア等の開催について、より効果的な取り組みを行い、県産水産物の認知度・イメージ向上と販路拡大に積極的に取り組むものとする。

第2 重点推進事項

1 みやざきブランド育成定着推進事業

①本県産水産物の流通・販売に積極的に取り組む地域における情報発信・提供

ア 全県的水産物の情報発信・PR資材作成

ブランド認証品をはじめとする本県水産物等を効果的にPRしていくため、テレビ・ラジオ・ブログ等による情報発信やフェア等でのポスター・のぼり等によるPRを行うとともに、県内各所で開催されるイベント情報等を掲載したイベントカレンダーの作成を行う。

- ・県政番組取材/同視聴者プレゼント等・イベントカレンダー作成、配付

- ・初かつおフェアの参加・開催等

イ 地域水産物フェア、イベントの企画等によるPR

各部会及び当協議会が主体となって、ブランド認証品をはじめとする本県水産物等について、各種イベント・フェア等の企画開催や県内漁協直販店のイベント参加等により効果的にPRを行う。



県政番組イセエビ取材
富士漁港

部会区分	対象漁協等	計画内容	
県北部会	北浦漁協 島浦町漁協 島浦加工組合 延岡漁協 延岡市漁協 庵川漁協 門川漁協 門川加工組合 日向市漁協	ブランド認証品(北浦灘アジ、門川金鰈、ひむか本サバ、宮崎一口あわび“海の恵”、宮崎焼酎もろみ漬け(シイラ))をはじめとする地元水産物を地域イベントやフェア等に参加してPRを行う。	 <p>ひむか本サバ</p>
県央部会	都農町漁協 川南町漁協 宮崎漁協 宮崎市漁協	ブランド認証品(みやざき金ふぐ)をはじめ、イセエビ、シイラ、宮崎チリメンなどの地元水産物を地域イベントやフェア等に参加してPRを行う。	
県南部会	日南市漁協 南郷漁協 栄松漁協 外浦漁協	かつお、マグロ、カンパチ、ブリなど、県内有数の水揚げを誇る水産物をはじめ、宮崎かつおうみっこ節などの水産加工品を地域イベントやフェア等に積極的に参加してPRを行う。	
内水面部会		国内第三位の生産量を誇る本県ウナギを、県内児童養護施設へクリスマスプレゼントとして、うなぎかば焼きの贈呈をはじめ、県政番組の視聴者プレゼントなどを通じてPRを行う。	
流通部会		鮮魚店や量販店などによる「宮崎初かつおフェア」の開催をはじめ、学校や商店街等と共同してイベントを開催し、「みやざきの魚」のPRを積極的に行う。	
協議会事務局		本県水産物の露出度を高めるため、各種イベント・フェア等を合同で開催し、積極的にPRすることで消費拡大を促進する。 ・宮崎イセエビいただきマンスでの広報 ・水産振興祭楠並木朝市参加による広報など	

② 販路開拓・定着促進

ア 本県水産物の販路開拓の促進

ブランド認証品等の更なる販売強化のため、県内外の商談会等に積極的に参加し、販路開拓・定着化の促進を図る。

- ・県内活動 延20回程度、・県外活動 延4回程度
- ・宮崎の魚 サンプル原魚提供等



イ ブランド認証品の販路定着促進

ブランド認証品の更なる販売強化のため、申請団体と一体となった取組により販路拡大・定着化の促進を図る。

認証年度	ブランド認証品	種別	25販売計画 (数量・金額)	24販売実績 (数量・金額)	認証申請団体	備考
14	宮崎カンパチ	鮮魚	10トン	8トン	宮崎県漁業協同組合連合会	県内99%
			900万円	670万円		県外1%
14	北浦灘アジ	鮮魚・活魚	期待値100トン	81トン	北浦漁協まき網船協業体	県内一
				9,326万円		県外100%
15	門川金鰨	鮮魚	1.5トン	1.3トン	門川漁業協同組合	県内80%
			500万円	464万円		県外20%
16	ひむか本サバ	鮮魚・活魚	45トン	42トン	北浦養殖マサバ協業体	県内35%
			7,300万円	6,749万円		県外65%
17	宮崎かつおうみっこ節	加工品	20,000個	18,500個	日南市漁協女性部水産物加工グループ	県内70%
			580万円	535万円		県外30%
19	五ヶ瀬やまめ	鮮魚・加工品	18トン	15トン	やまめの里漁業生産組合	県内40%
			3,800万円	3,035万円		県外60%
20	宮崎焼酎もろみ漬け(シイラ)	加工品	8,500個	7,500個	門川水産加工業協同組合	県内40%
			310万円	280万円		県外60%
20	宮崎一口あわび“浦の恵”	鮮魚	2,295個	3,404個	一口あわび養殖グループ	県内70%
			137万円	108万円		県外30%
22	みやざき金ふぐ	鮮魚	60トン	49トン	みやざき金ふぐ振興会	県内40%
			3,000万円	2,639万円		県外60%

FISHERIES CO-OPERATIVE

2 ブランド推進協議会運営事業

① 協議会等の運営

当協議会及び部会の開催を行うことにより、効果的な事業推進や円滑な運営を図る。

- ・協議会の開催 1~2回程度
- ・部会の開催 5部会、各1~2回程度

② ブランド品の育成と定着の指導

県水産物ブランド品の育成と定着促進を図るため、県内漁協との調整・指導等を行う。

- ・関係漁協への調整
- ・指導 延20回程度
- ・事務局職員関係費
- ・印刷物等



宮崎県認証



収支予算書

1 収入の部

(単位:円)

区分	本年度予算額	前年度予算額	比較増減		備考
			増	減	
県補助金	6,953,000	6,953,000	—	—	
その他	4,248,000	4,248,000	—	—	
合計	11,201,000	11,201,000	—	—	

2 支出の部

(単位:円)

区分	本年度予算額	前年度予算額	比較増減		備考
			増	減	
1みやざきブランド育成定着推進事業	5,471,000	5,541,000	—	△70,000	
2ブランド推進協議会運営事業	5,730,000	5,660,000	70,000	—	
合計	11,201,000	11,201,000	70,000	△70,000	



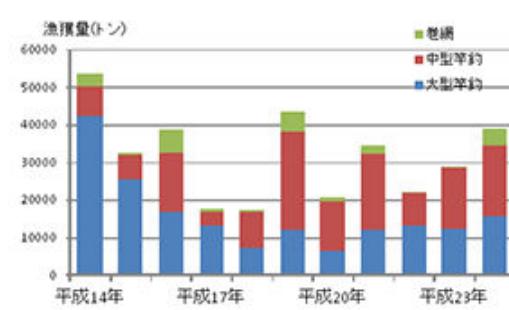
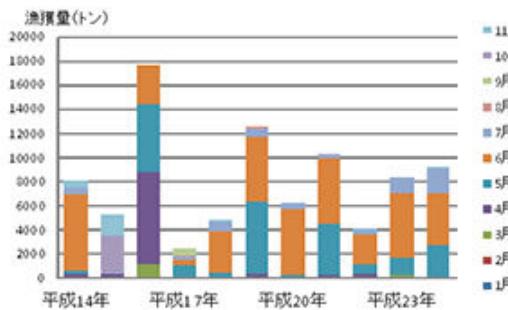
FISHERIES CO-OPERATIVE

平成25年 竿釣ビンナガ資源來遊状況について

平 成25年の竿釣り漁業のビンナガ資源來遊動向について、來遊に関する基本的な情報をとりまとめましたので、報告します。

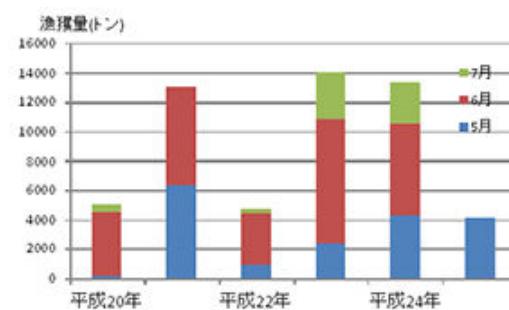
1.近年のビンナガの漁獲状況について

図1に平成14年～平成24年までの宮崎県カツオ一本釣船のビンナガ漁獲量の推移を示しました。漁獲量は平成17年を底に増大し、年により増減はあるものの、増加傾向を示し、平成24年には9,264トンとなっています。図2に全国の漁業種類別の漁獲量の推移を示しました。漁獲量は本県とほぼ同じように、平成17、18年を底に、その後は増加傾向にあります。このように、近年は、漁獲が順調に伸びてきています。



2 平成25年の漁獲状況について

ビンナガの漁獲は、本年は5月より本格化し、カツオ一本釣船の主要水揚港の千葉県勝浦港での水揚げ(図3)は、すでに5月20日の段階で4,000トン台となり、昨年5月の月間の水揚げ4,280トンにちかづいており、好調な水揚げとなり今後が期待されます。



3.来遊資源の豊度について

(1)はえ縄(25年1月～3月)

ビンナガは、冬期にまぐろ延縄で漁獲され、その後、夏期の竿釣り漁場で再び漁獲されます。

このため、図4にある海域でのまぐろ延縄で漁獲され、紀州勝浦港に水揚げされたビンナガのCPUEをビンナガ來遊量の豊度の指標として検討を行いました。

漁獲量の推移を図5に示しました。漁獲量は、昨年比は78%と減少していますが、まぐろ延縄船の過去5年間の平均値との比較では99%と平年並みとなっています。

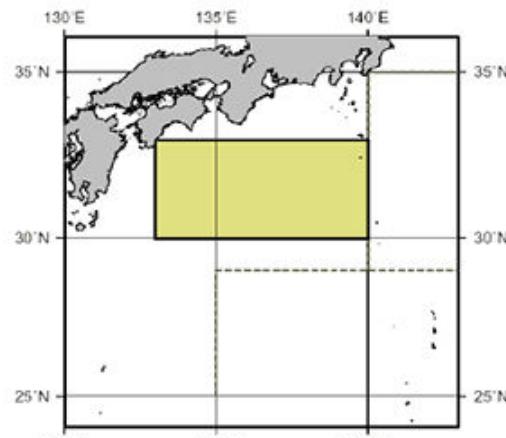


图4 調査対象海域

FISHERIES EXPO

水産試験場

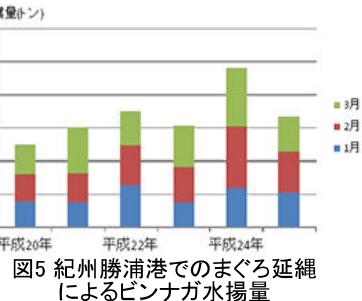
ビンナガの年齢別のCPUEの比較を表1に示しました。過去とのビンナガの全年齢込みの全体のCPUEは、3.76となり、前年から減少し前年比59%ですが、過去5カ年平均と比較すると93%と平年をやや下回る水準です。延縄で漁獲されたビンナガの3歳魚(6月が発生日として、夏期のカツオ一本釣りでは4歳魚に成長)のCPUEは、2.52で前年からは減少しましたが、過去5カ年平均より増加しています。延縄の4歳魚(カツオ一本釣りの5歳魚に相当)のCPUEは、0.84で前年から減少し、過去5カ年平均でも減少しました。

延縄では、年齢別にはまぐろ延縄3歳魚(カツオ一本釣り4歳魚)が過去5カ年平均を上回り、夏期以降の漁獲が期待されます。

(2)カツオ一本釣船

本年のカツオ一本釣りの3歳魚の来遊豊度に関する情報として、昨年の平成24年のカツオ一本釣り2歳魚は、1.94(千尾/有漁日・隻)で、平成23年(0.04)、過去5カ年平均(0.55)と比較しても顕著に高い水準となっています。この群が夏期には3歳魚として漁獲されると考えます。

	年齢	2011	2012	2013	過去5年平均	竿釣2013年年齢	昨年比(%)	5年比(%)
竿釣*1	2歳	0.04	1.94	—	0.55	3歳(5-6kg)	4850	353
延縄	3歳	1.96	4.43	2.52	2.15	4歳(7-11kg)	57	117
	4歳	0.69	1.72	0.84	1.09	5歳(12-15kg)	49	77
	5歳以上	0.59	0.21	0.41	0.79	6歳(15kg以上)	195	52
	全年齢込み	3.24	6.36	3.76	4.03	4~6歳	59	93



*1 平成25年の来遊量を予測するために、平成24年の本州東方海域でのカツオ一本釣船の2歳魚のCPUE、過去5カ年の同平均CPUEを入れている。

以上の来遊豊度の指標から、本年度漁期は、昨年のカツオ一本釣りで対象となり、来遊量が平年を上回る3歳、本年のまぐろ延縄で対象となる来遊量が平年並の4歳魚(竿釣りの年齢)が主体となり、海況次第で、活況を呈すると考えられます。

4月の動き (県関係)

9日	平成25年度 県立高等水産研修所入所式(日南市)
25日	第363回海区漁業調整委員会(宮崎市)



RELATED ORGANIZATION

関係機関

宮崎県旋網漁業組合第3回役員会

宮 崎県旋網漁業組合(組合長 清田幸一郎)は、去る4月25日(木)宮崎市にて第3回役員会を開催した。

また、役員会終了後、県への挨拶を行った。協議内容は下記の通り

(1)新旧役員引継について

(2)その他

宮崎県漁協参事会三役会

宮 崎県漁協参事会(会長・石井強)は、4月23日(金)漁連会議室において三役会を開催した。

提出された平成24年度事業報告書及び収支決算書(案)・平成25年度事業計画書及び収支予算書(案)等についてはすべて原案通り承認決定された。また、第1回定例会を5月31日(金)に行うことで決定した。

宮崎県漁協職連第1回役員会

宮 崎県漁協職員連絡協議会は、4月25日(木)水産会館研修室において第一回役員会を開催した。

提出された平成24年度事業報告書及び収支決算書(案)、平成25年度事業計画書及び収支予算書(案)については、すべて原案どおり承認決定した。また、本年度の活動としては、会員相互の親睦と融和を図り漁協運動の進展を期するため、次の通り取り組む方針が決められた。

・レクリエーション…ボウリング大会を開催する。

宮崎県かつお・まぐろ漁業者協会第1回役員会

宮 崎県かつお・まぐろ漁業者協会(会長丸山英満)は、去る4月23日(火)南郷漁協会議室において第1回役員会を開催した。協議内容は以下の通り

(1)平成24年度事業報告書及び収支決算書の承認について

(2)平成25年度事業計画書及び収支予算書(案)の承認について

(3)平成25年度賦課金の額及び徴収方法の決定(案)について

(4)その他

平成25年度

宮崎県かつお・まぐろ漁業者協会通常総会

宮 崎県かつお・まぐろ漁業者協会(会長 丸山英満)は、去る4月23日(火)日 南市南郷町めいつ漁民センターにおいて平成25年度通常総会を開催し、全議案とも異議無く承認された。また、役員改選については、前役員がそのまま再任することとなった。協議内容は以下の通り

(1)平成24年度事業報告書及び収支決算書の承認について

(2)平成25年度事業計画書及び収支予算書(案)の承認について

(3)平成25年度賦課金の額及び徴収方法の決定(案)について

(4)その他

(5)役員改選

4月の動き

11～12日	平成25年度宮崎県漁協初級職員研修会	25日	宮崎県漁政対策委員会第1回委員会・ ロケット打上げに関する事前協議
23日	宮崎県かつお・まぐろ漁業者協会第1回役員会 平成25年度宮崎県かつお・まぐろ漁業者協会通常総会 宮崎県漁協参事会三役会		宮崎県旋網漁業組合第3回役員会 宮崎県漁協職連第1回役員会

RELATED ORGANIZATION